

主な目次

- 国保事業として満10年…… P 1
- 市政懇談会…………… 2
- 市民組織めぐり…………… 2
- 明るい生活…………… 3
- 小児マヒをみんなで防ごう…… 3
- わたくしたちの市役所…………… 4
- 11月20日衆議員選挙…………… 4

るもい

発行所
留萌市役所
電話(代)270番
編集人
市民課長 青山喜三郎
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
(毎月1回1日発行)

季節の言葉

話しあひ

橋本作市

近頃の風潮は、民主主義を叫びながらも、真の民主主義がはたして進められているのだろうか、懐疑的になることがある。

民主主義を進めるために認められた発言の自由ではあつたが、最近の発言の荒々しさ、あつちまさは、どんなものであろうか。

自分の考え方を無理に押し通そうとし、少しでも食違ふことがあつたら、敵だとか、絶対反対だとかと簡単に、しかも極端にきめつけたり、問答無用とい

わんばかりに、政治家に凶刃を浴せるテロなどを見るにつけても、その傾向が次第に強くなつてきているのではないかと心配になる。

もともと日本人は、諸外国に比らべ、話しあひの下手な国民かもしれないが、それによつても、戦後国民の手にもつた話しあひの民主主義を実現しようとの努力も次第に薄れていくのは、非常に残念なことである。

おだやかに相手の立場を尊重しながら話しあひ、明はじめて民主的な市政、明

るい生活が実現されることは、いまだにうまでもないが、実際には、相手の嫌がるような言葉を無神経につかひ、あるいは相手のきめつけられるだけの、言葉の投げあひが行われているのは決して話しあひではない。

それでは、前向きな結論など見出すことはできないであろう。

こうした荒々しい、あつかましい発言の乱調子の、みなくさ一部に良識者たちが、さういふ傾向が出てようか、という傾向が出てくるのは実に憂うべきことである。

私たちは、政治に限らず常に他人の意見に耳を傾ける寛容と、相手の立場を尊重する精神を忘れず、おだやかに話しあひすることよつて、きよより、あすへさらに明るい生活を築きあげる努力を忘れてはならないと思う。(留萌市長)



政府指定倉庫

市民文化祭

第一回

十一月三日の文化の日を中心に、市民のみならず、この意義を高めるため、市では本年から、市民ぐるみの文化祭を催すことになりました。

本年は、次の文化団体の協力をえて、盛大に催されます。市民多数の参加が望まれています。

なほ、入場料は、いずれの会場も無料です。

芸術発表会 四日午後六時から中央シネマ

華道発表会 三、四の二日 午前九時から午後二時 労働会館

絵画展示会 十日午前九時から労働会館

参加協力団体

三才流桃明会和田桃川社
中 響曲山神社中 花柳社中 留萌バレー研究会
若人文化会 北研究会
みどり会 留萌混成合唱団 英会。

豊作なソレツ

ことしも

豊作な

〇：クヨイソツツとかつぎあげた米俵も、稔りの秋をむかえ、心なしかズツシリと重い。

留萌地方のウクライナ(穀倉)ともいわれる幌帳を中心とする農村は、いまが早出し米の最盛期。

〇：冷害型といわれたことしも、四年続きの豊作とあつて、どの農夫の顔も明るい。

思えば、八十八夜らしい朝に野露をふみ、夜は頭上に星をいたく、はげしい連日の労働がむくいられ、秋の陽に輝く赤銅色の顔もつややかだ。

〇：市内幌帳町にある留萌市農業協同組合の前は、毎日新米を満載した車の列。農協青年部の若い七十四名の勤労者で、広い倉庫もまたたく間にうす高い米俵で埋まつてゆく。

豊作の影響で、三棟ある倉庫も、ことしは新米が入りきらないとは、なんともうれしい悲鳴である。

(写真は農協倉庫前での早出風景 市内幌帳町)

国保で築く健康留萌

医療制度の充實につとめる

留萌市が、市民のみならず、市民の健康を対象にした国民健康保険事業を始めてから、ことし(六月一日)で満十年を迎えました。

国民健康保険事業(国保事業)は、会社や役所に勤めている人たちが対象にした健康保険に加入できない一般の市民のために、病院にかかる治療代を安くするのをねらつて行なわれてきました。

全国には、まだ国保事業を始めていない市町村が多く、やつと法律が改正されて、明年からは、全部の市町村が行なうことが決められました。

留萌市の国保事業は、昭和二十五年六月一日に、その頃行なわれていた留萌市国民健康保険組合を引継ぎ、いまはやく市の事業として始めたのです。全道二十七市中四番目にあたります。

明るく健康な留萌を築こうと、積極的に事業を進め、二十五年度に直営診療所(いまの国保東病院)を設け、二十九年度には幌帳診療所、三十二年に元町診療所を設け、三十二年に、市立留萌病院を国保西病院と名前をあらためて、その充実につとめたのです。

一方、市内の病、医院とも契約を結び、保険に加入して、半額の料金で完全に病気をなおせるようにしています。

いま国保事業に加入している市民は、二千八百二十一世帯(全市の三二・一%)、一万三千四百九十八人(全市の三五・%)にのぼり、昨年一カ年で病、医院にかかった人は、延べ一万六千人を越え、そのために市が支払われるお金は、約二千万円にのぼっています。

しかし、国保事業の台所

給付の種類	割合	件数	総費用額	市	市民
療養費の給付	5割	25,048件	3,389万円	1,645	1,645
助産費	500円	129件	6万円	6	0
葬祭費	500円	67件	3万円	3	0
計		25,244件	3,948万円	1,654	1,643

簡単な盲腸手術で9日間入院した場合

A 国保を利用しないとき (背麻酔すい)

$$18点 - 400 + 8 + 60 + 5.8 + 372 = 863.8点$$

(基本料金)(手術料)(血球計算)(麻酔剤)(入院料)

本人負担額=863.8点×15円=12,957円

B 国保を利用したとき

本人負担額=863.8点×10円=8,638円×2分の1=4,319円

AとBの差額=12,957-4,319=8,638円これだけ安い

① 国保で築く健康留萌
港町三 金沢繁美

② 育てた国保で気楽な療養
港町 金塚悦子

③ 一に完納二に治療三に笑顔で育てる国保
千鳥町 橋本淑子

④ 国保のおかげで、うちも隣りもみんな健康
沖見町 高野登

⑤ 一家の健康 国保で安心
南町 佐藤真一

国民健康保険事業について、市役所では、懸賞標語を募集していましたが、応募作品百五十点の中から、次の五点が優秀作として、入選しました。

一位に金沢くん
一 国保懸賞標語

国民健康保険事業についての認識を高めるため、市役所では、懸賞標語を募集していましたが、応募作品百五十点の中から、次の五点が優秀作として、入選しました。

① 国保で築く健康留萌
港町三 金沢繁美

② 育てた国保で気楽な療養
港町 金塚悦子

③ 一に完納二に治療三に笑顔で育てる国保
千鳥町 橋本淑子

④ 国保のおかげで、うちも隣りもみんな健康
沖見町 高野登

⑤ 一家の健康 国保で安心
南町 佐藤真一